

科目名称：	幼児と表現A	
担当者名：	森田 ゆかり	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	演習	1
授業の目的・テーマ		
<p>1. 「表現」とは何か？という根源的な問いに向き合いながら、子ども及び自らの感性や創造性を豊かにする様々な表現遊び・環境の構成について実践的に学び、乳幼児期の表現活動を支援するための知識・技能、表現力を身につける。</p> <p>2. 造形活動を通して子ども一人一人の発達や思いを読みとれることを理解する。</p>		
授業の達成目標・到達目標		
<p>1. 様々なモノ、コトを感じる・みる・聴く・楽しむことを通してイメージを豊かにすることができる。</p> <p>2. 身の回りのものを身体の諸感覚で捉え、素材の特性を活かした表現ができる。</p> <p>3. 表現することの楽しさを実感するとともに、楽しさを生み出す要因について分析することができる。</p> <p>4. 他者の表現を受けとめ共感し、より豊かな表現につなげていくことができる。</p> <p>5. 様々な表現の基礎的知識・技能を活かし、子どもの表現活動に展開させることができる。</p> <p>6. こどもの遊びや生活における領域「表現」の位置づけについて説明できる。</p>		

幼児教育学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP (1)	建学の精神と設立の理念を基に、基礎知識を修め、子ども・保護者・地域住民に信頼され、多様な文化に対応できる幅広い教養が身につけている。	
DP (2)	優れた専門知識や技能を修得し、他者と協調・協働し、社会の一員として、保育・幼児教育の分野において貢献できる使命感、倫理観、責任感、実践力を身につけている。	
DP (3)	幼児教育の学びを通して多様な社会に対応できるような豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができる。	○
DP (4)	学生一人ひとりが、演習、実習などを通して様々な課題に取り組み解決する学修経験を重ねることで、その場に応じた活用力が身につけている。	

評価方法／ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
幼児教育DP (1)					0
幼児教育DP (2)					0
幼児教育DP (3)	50		40	10	100
幼児教育DP (4)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
あり	《内容1》アートスクール講師（2歳児～小学生の絵画・造形指導）	《経験年数1》2年6か月
	《内容2》アートディレクター（子ども対象のワークショップなど企画・実践）	《経験年数2》4年10か月
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》

備考

到達目標ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
事前学修	期待以上の主体的な事前学修に取り組んでいる。	全ての事前学修に取り組んでいる。	ほぼ事前学修に取り組んでいる。	事前学修を全くしていない。
理解度	授業の目標・内容を理解し期待以上の主体的な学修が見られる。	授業の目標・内容を理解し実践しようとしている。	授業の目標・内容をほぼ理解している。	授業の目標・内容を理解していない。
文書の分かりやすさ・見やすさ（ワークシート）	期待以上の文書が作成できる。	分かりやすくかつ見やすい文書を作成できる。	分かりやすい文書を作成できる。	文書が分かりにくい。量が少ない。
自分の考えの伝え方（ワークシート、試験）	自分の考えを読む人に伝え納得させることができる。	自分の考えを論理立てて読む人に伝えることができる。	自分の考えを読む人に伝えることができる。	自分の考えが読む人に伝わらない。

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間（分）
第1回 「表現」とは？ 「美術」に対する意識を変える、授業の目的・目標（電子黒板使用）	シラバスを精読しておく。	20分
第2回 無垢な目と自由な心 DVD『エリック・カール 色の魔法を学ぼう』（電子黒板使用）《ファイルづくり》	第1回の授業内容（「表現」とは？）を復習。	15分
第3回 造形遊び① 「エリックさんの色紙」づくり（電子黒板使用）	第2回の授業内容（DVD視聴からの学び）を復習。	15分
第4回 造形表現① コラージュ「エリックさんの色紙」を活かす	第2回の授業内容（DVD視聴からの学び）を復習。	15分
第5回 造形遊び② デカルコマニー（合わせ絵）・流し絵・吹き絵＋見立て遊び	第3回、第4回授業での体験からの気づきを復習。	15分
第6回 造形表現② コラージュ デカルコマニーで生まれた形を活かす、鑑賞を楽しむ（電子黒板使用）	第5回の授業内容（「造形遊び」と「造形表現」の関係）を復習。	15分
第7回 造形の基礎知識① 絵の具類・筆・筆洗・混色（電子黒板使用）	「水彩絵の具、ポスターカラー、アクリル絵の具」について調べ学習。	20分
第8回 造形の基礎知識② 水彩絵の具による混色遊び・こどもの魅力的な線を活かす彩色（電子黒板使用）	「絵の具に関する困った体験」について記しておく。	15分
第9回 造形遊び③ スタンプ台づくり、フィンガーペインティング（グループワーク）	授業の達成目標1, 2, 3の意味について第8回までの授業を踏まえ考察。	20分
第10回 絵本とこどもの心（電子黒板使用）	「絵本にまつわる幼少期の体験」について記しておく。	20分
第11回 造形遊び④ スタンプ遊び・たんぼ遊び・ステンシル	授業の目的に合った素材、ものを収集しておく。	20分
第12回 こどもの絵を読み取る、こどもの絵から見える発達と意思、領域「表現」の位置づけ（電子黒板使用）	「絵を描くことにまつわる幼少期の体験」について記しておく。	20分
第13回 造形表現③ 造形遊びから造形表現へ、第12回授業までの学びを活かす	造形遊び①～④で生まれた素材を整理し、活用できるようにしておく。	20分
第14回 造形遊び⑤ 五感で楽しむ絵の具遊び	第5回の授業内容（「造形遊び」→「造形表現」の関係）を復習。	20分
第15回 造形遊び⑥ 光で遊ぶ・影で遊ぶ	授業の目的に合った素材、ものを収集しておく。	20分

事前事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。また、事前事後学修としては、上記内容以外に次回までの小レポートをまとめることになる。

成績評価の方法・基準

定期試験は、50%で評価する。その他の評価配分は、以下のとおりである。
事前学修10%、ワークシート30%（毎回配付されるワークシートを授業内で各自作成し提出）、授業への積極的関与10%

課題に対するフィードバック

毎回作成・提出されるワークシートには全て担当者が目を通し、返却する際、ワークシートの記述内容に即してプリントなどで補足しながら振り返りを行う。

教科書・参考書

授業中に適宜資料を配付する。
「幼稚園教育要領」、「保育所保育指針」、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」